

LPガス販売事業者
LPガス工事施工者 の皆様へ

LPガス用 単段式圧力調整器
[張力式ガス放出防止器内蔵型調整器]
取扱説明書

単段式圧力調整器をお買い上げ頂きありがとうございます。

この取扱説明書は主としてLPガス販売事業者・LPガス工事施工者の方を対象に作成してあります。

お客様に安全・快適にLPガスをご使用していただくため、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(以下、液石法と呼びます)、同法施行規則、告示並びに例示基準、LPガス設備設置基準及び取扱要領等の基準を遵守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図ってください。

なお、この説明書で ⚠ は警告、🚫 は禁止を表わしたものです。

製造元・販売元

株式会社 桂精機製作所

本社 〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1
TEL (045)461-2334(代表)

LPガス用単段式圧力調整器[張力式ガス放出防止器内蔵型調整器](以下、調整器と呼びます)は、使用する燃焼器具に適切な圧力を供給するために高圧のLPガスを減圧・調整する機能を有するものです。

容器バルブとの接続がPOLナットタイプ又はPOLハンドルタイプのいずれかを選択することができます。

この調整器は、容器の転倒などにより、調整器に所定の張力が加わると、ガスを止める機構を内蔵した調整器です。

※ 入口圧力1MPaの時、20～150Nの張力が加わるとガス放出防止弁が作動します。

⚠ この製品は、(一財)日本エルピーガス機器検査協会の検査に合格した製品です。マークを確認して下さい。

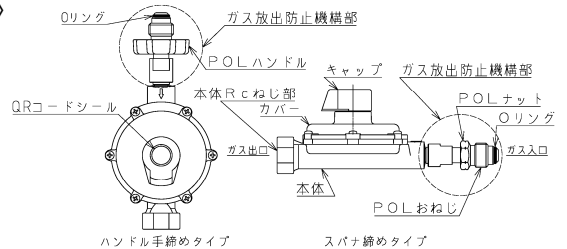


⚠ 製品には「保証書」を同梱してありますので確認し、保管して下さい。

⚠ 製品に交換期限を明示したシールが貼付してあります。

項目	主な仕様	
型 式	SKL-5BH-B	SKL-5BS-B
使 用 ガ ス	LPガス	
入 口 接 続	Sタイプ:POLナット(スパナ締め) Hタイプ:POLハンドル(手締め)	
出 口 接 続	Rc1/2	
整 圧 性 能	入 口 圧 力 P	0.07～1.56MPa
	容 量 Q	5kg/h
	調 整 圧 力 R	2.3～3.3kPa
気 密 性 能	閉 そ く 圧 力	3.5kPa以下
	安 全 弁	入口側:1.56MPa以上 出口側:5.5kPa以上 作動開始圧力:5.6～8.4kPa 作動停止圧力:5.04～8.4kPa

〈各部名称〉



2 安全のために

🚫 この製品は、LPガス専用の調整器です。LPガス以外に使用すると機能が損われる恐れがありますので他の用途には使用しないでください。

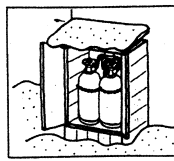
🚫 調整器は、工場で精密に組付けたものです。分解・改造するとガス漏れによる事故発生の原因となりますので絶対に改造しないでください。



🚫 この製品は衝撃を受けるとガス漏れ等の事故につながる恐れがありますので、絶対に叩いたり、物を当てたり、重い物を落としたりして衝撃を与えないでください。



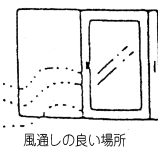
⚠ 調整器を雪害・落雷の恐れのある場所に設置する場合は、収納庫等で適切に防護してください。



🚫 この製品は、圧力が異常上昇した際にガスを外に逃がすために安全弁を内蔵しています。火気から2m以上離れた屋外に設置してください。



🚫 液石法で一部の寒冷地域では容器の屋内設置が認められていますが、その場合は、容器と調整器を通風のよい場所に設置してください。



3-1 設置工事

⚠ 調整器の設置・取付工事は、液化石油ガス設備士自らが施工してください。



⚠ 火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所には設置しないでください。



⚠ 調整器は、有害ガス(例:アンモニア・亜硫酸ガス等)の影響を受ける恐れのある場所には設置しないでください。



⚠ 調整器を配管等と接続する際には、ガス漏れ等の発生を防ぐため、ねじ部の切粉、切削油、ゴミ等の異物を完全に除去してください。

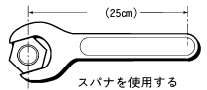
接続部の異物を除去する



⚠ 低圧部のねじ接続には、接続するねじの先端2山を残し全周に耐LPガス性の不乾性シール剤を使用してください。



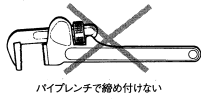
⚠ 調整器を配管等に取り付ける際は、本体に無理な力が掛からないよう、本体スパナ掛け部の面幅にスパナを掛け、適切な力でねじ込んでください。締付け力は長さ25cmのスパナを用いて44N・m以下の適切な力で締付けてください。



スパナを使用する

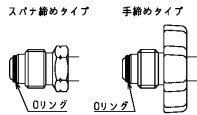
3-2 設置工事

⊘ 配管用パイプレンチをスパナ代わりにして調整器側を締付けしないでください。



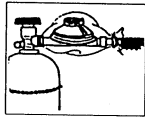
パイプレンチで締め付けない

⚠ 接続部のOリングに傷が発見されたときは、ガス漏れ防止のため新品のOリングと交換してください。



傷やひび割れがあるときは交換

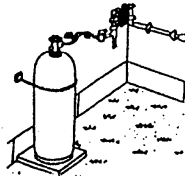
⚠ 調整器の通気口から雨水・雪等が侵入して凍結することを防ぐため、適切な防護措置を施してください。



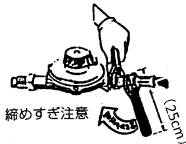
カバーで防護する

⚠ 熱による圧力上昇(異常)を防ぐため直射日光があたらないようにしてください。

⚠ 調整器内部にドレンが溜らないように、容器用バルブに調整器入口側を直結して、キャップを上にして水平設置し、継手金具付き低圧ホースを下り勾配になるように取付け、低圧配管部にドレン抜きを設けてください。

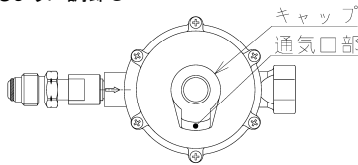


⚠ 調整器と低圧ホース継手金具等の締付けは、スパナ2丁掛けで行ってください。締付け力は長さ25cmのスパナを用いて44N・m以下の適切な力で締付けてください。



締めすぎ注意

⚠ 水平取付を行う際は雨水等の侵入防止のためキャップの通気口部を下向きになるように調節してください。

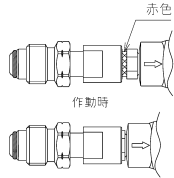


5 ガス放出防止器作動時の復帰方法

⚠ 赤い表示が見える場合はガス放出防止弁が作動しています。

⚠ 復帰は、下流側の安全を確認した後、容器バルブから一旦取外して、カチッと音が鳴るまで手で完全に押し込んでください。

⊘ この時、容器バルブ取付け側先端部を傷つけないでください。



復帰時

6 容器交換時の注意

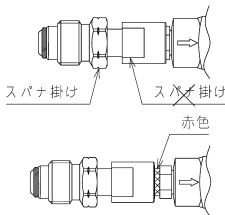
⊘ 容器交換時に引張って作動させないでください。ガス放出防止器は調整器に張力が加わったときに作動するもので、その他のときに作動させるとトラブルの原因になります。

⊘ 防止器を誤作動させないために、調整器を容器に取り付けたまま容器の位置や向きを変えないでください。

⊘ 調整器を引張って容器に取り付けたりして“引張応力”を与えないように取付けてください。

⚠ スパナ締めタイプを容器に接続する時にはPOLナット以外の所でスパナ掛けて回さないでください。ガス放出防止機構部が壊れる恐れがあります。

新しい容器と交換した時は、容器バルブを開いた後、図のように赤い表示が見えていないことを確認してください。赤い表示が見えていたら、



スパナ掛け

スパナ掛け

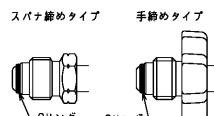
赤色

5 ガス放出防止器作動時の復帰方法

に従って復帰してください。

7 維持管理

⚠ 容器用バルブとの接続部からガス漏れを防止するため、調整器入口部のOリングを傷つけないように注意してください。



傷やひび割れがあるときは交換

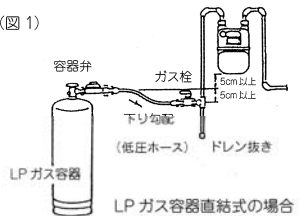
⚠ 傷・ひび割れ・変形等の異常があるOリングは、直ちに新品のOリングに交換してください。

3-3 設置工事

⚠ 調整器内部に再液化ガス及びドレンが溜まらないように、右図のように、容器用バルブに調整器入口側を直結して、容器に設置し、継手金具付き低圧ホースを下り勾配になるように取付けてください。

(取付例)

(図1)



LPガス容器直結式の場合

⚠ 気密試験及び作動確認

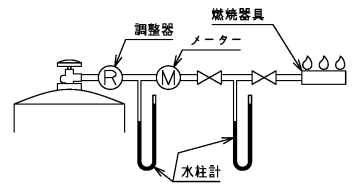
⚠ 調整器の設置工事終了時には、必ず液石法で定められたガス配管の気密試験を実施し、漏れのないことを確認してください。

⚠ 気密試験圧力1.56MPaを超えて試験を行うと、ガス放出防止器が作動することがあります。気密試験後は、ガス放出防止器が作動していないことを確認してください。

⚠ 周囲に火気のないことを確認した後、配管内のエアージェットを行ってください。

⚠ 燃焼器に点火し、ガスが正常に燃焼することを確認してください。

⚠ 調整器出口又はガスメータ入口における調整圧力(2.3~3.3kPa)が正常であること、設置された最大燃焼器のガス使用時の入口圧力が2kPa以上であることを検査し、調整器が正常に作動することを確認してください。



⚠ ガスの使用を停止し、閉そく圧力が3.5kPa以下であることを確認してください。

4 ガス放出防止器を確実に作動させるための使用方法

⚠ ガス放出防止器を確実に作動させるため、容器用バルブに調整器入口側を直結し、出口に継手金具付き低圧ホースを下り勾配になるように設置してください。

⚠ 調整器入口部のPOLねじに傷や変形があるものは、無理な力で締付けずに、新品の調整器と交換してください。

⚠ 安全のために調整器や容器の周囲に物を積み上げないでください。

⚠ 容器交換時には、調整器の内部に砂粒、ゴミ等の異物が入らないように注意してください。

⊘ 容器交換を行う場合、POLねじ部の脱着前後に調整器本体を持って無理に位置合わせをすることは、ガス漏れの原因になりますので、絶対に行わないでください。



検知液で漏れの有無を確認する

⚠ 容器交換作業の終了後には、検知液等を用い、調整器本体や容器との接続部からガス漏れのないことを必ず確認してください。

⚠ 調整器は製造後10年経過したものは、性能低下が予測されますので新品と交換してください。



高性能品(I類)

8 QRコード表示案内

調整器にはQRコードを印字したシールを貼付しました。下記にそのシールとQRコードの読み取り内容を示しますのでご確認ください。

006	メーカー番号
SKL-5BS-B	型式
201704	製造年月
202704	交換期限(202704:2027年4月を表す)
170401	製造番号(170401:2017年4月の1番ロットを表す)
カツラ	メーカー名
タンダン	商品名(タンダン:単段調整器を表す)
5K	容量(5K:5kg/hを表す)
6002****	弊社工場の管理番号(9桁の数字)

(例: SKL-5BS-B)
'006.SKL-5BS-B.201704,
202704,170401.....カツラ,
タンダン,5K,6002*****,...

